

日本職業リハビリテーション学会

第48回（愛知）大会 開催案内

職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える

～ これからの10年を目指して～

形 式 オンラインセミナー（Zoom）

会 期 ライブ配信 2021年8月27日（金）・28日（土）
オンデマンド配信 2021年8月27日（金）～9月11日（土）

主催：日本職業リハビリテーション学会・同愛知大会実行委員会

共催：愛知県公立大学法人 愛知県立大学

後援（予定）

愛知県、名古屋市、愛知労働局

一般社団法人日本作業療法士協会、きょうされん、公益財団法人日本知的障害者福祉協会、公益財団法人日本リハビリテーション協会、公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会、公益社団法人日本社会福祉学会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

大会長あいさつ

愛知での大会は、2011年の第39回大会（愛知県立大学）から10年ぶりになります。本来は、2020年8月に、愛知県立大学長久手キャンパスにて開催するはずであった第48回大会を、新型コロナウイルスの影響により、1年間延期し、2021年8月に愛知を拠点にWEB開催することとなりました。振り返ると、20世紀に入ってから、2002年の第30回大会が愛知県立大学で開催されており、9年～10年刻みで愛知県内において開催されていることとなります。

この間、障害者雇用を取り巻く環境は大きく変わり、障害者雇用および障害福祉に関わる様々な施策が整備され、民間企業における障害者雇用は大きく進展し、民間企業に就職する障害者は増え続けています。2018年4月には就労定着支援事業が創設され、我が国の障害者就労や雇用に関わる制度・事業はさらに前進をし、施策は充実してきています。一方、最近では障害者雇用の質・就労支援の質という言葉をよく耳にするようになってきています。様々な施策が整ってきている反面、実践が追いついていない状況に陥っているのかもしれませんが。こうした背景には、施策自体の問題があるのは間違いありませんが、実践の現場が雇用率ありき、障害福祉サービスの事業運営ありきに走ったことは多かれ少なかれあったのではないのでしょうか。職業リハビリテーションに関わる実践家自身が、今一度、日々の実践を見直していく必要があると感じています。

他方、我が国では2016年に政府が「働き方改革」の取り組みを提唱し、この間、様々な法整備が進んできています。企業の中では、長時間労働の是正、ICTを活用した労働生産性向上、AI等を活用した定型的作業の自動化、コロナ禍における在宅勤務の広がりなど、時間短縮や効率化に関する取り組みが少しずつ始まってきています。しかし、我々が考える『真の働き方改革』は、時間短縮や効率化だけではなく、業務の質の向上はもとより、生活の質の向上、多様な人材活用を通じたダイバーシティ社会の実現、インクルーシブな社会の実現といった社会全体の変革が重要であると考えています。何らかの働きづらさを抱える方々の問題解決は、そうした社会実現の一つの解決策の糸口になるのではないかと考えています。

このため、48回大会ではテーマを「職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える～これからの10年を目指して～」とし、今後の解決課題を明らかにしたいと考えています。また、2020年～2021年における新型コロナウイルスの蔓延は、本学会にも、大きな課題を突き付けています。このテーマに基づいて基調講演・対談を企画するとともに、「アジア各国における障害者雇用や職リハ学会の現状を知る」というテーマでシンポジウム企画しています。広い視野で我が国の状況を見つめ直す機会になればと考えています。

愛知大会への参加を心からお待ちしています。



第48回大会長 大曾根 寛 （放送大学）

《 スケジュール 》

1. ライブ配信スケジュール

8月27日 (金)	12:30~13:00	受付
	13:00~13:15	開会式
	13:15~14:45	基調対談 職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える ~これからの10年を目指して~
	14:45~15:00	休憩
	15:00~16:30	大会主催ワークショップ 1. 企業在籍型ジョブコーチの実態と働き方改革
	16:45~18:15	オンライン交流会
8月28日 (土)	10:00~10:30	受付
	10:30~12:00	大会主催ワークショップ 2. 就労支援と相談支援 第I部：実践発表（10:30~12:00） 第II部：ランチタイムセッション（12:00~13:00）
	12:00~13:00	休憩
	13:00~15:00	シンポジウム
	15:00~	閉会式

※ ライブ配信の基調対談、シンポジウム、大会主催ワークショップについては、後日オンデマンド配信予定です。

2. オンデマンド配信／大会ホームページ掲載

配信・掲載期間：8月27日（金）～9月11日（土）

【 オンデマンド配信 】

<p style="text-align: center;">大会主催ワークショップ</p> <p>3. 精神障害者の就労支援における医療機関との連携 ~作業療法の活用の実際~</p> <p>4. 大学・短大・専門学校における就労困難学生支援への取り組み</p> <p>5. 失語症就労支援フォーラム2021 ~当事者から学ぶ失語症のある人の働き方AtoZ~</p>
<p style="text-align: center;">自主ワークショップ</p> <p>研修基礎講座A 職業リハビリテーションの基礎</p> <p>研修基礎講座B 就労支援の現場における人材育成 ~ワーク・エンゲイジメントとグループスーパービジョン~</p>

【 発表資料掲載 】

研究・実践発表

《 プログラム概要 》

基 調 対 談

「職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える

～これからの10年を目指して～

大曾根 寛 氏 (放送大学)

高橋 賢司 氏 (立正大学)

※ ライブ配信 8月27日(金) 13:15 ~ 14:45

我が国では2016年に政府が「働き方改革」の取り組みを提唱し、この間、様々な法整備が進んできています。企業の中では、長時間労働の是正、ICTを活用した労働生産性向上、AI等を活用した定型的作業の自動化など、時間短縮や効率化に関する取り組みが少しずつ始まってきています。しかし、我々が考える『真の働き方改革』は、時間や効率化だけではなく、業務の質の向上はもとより、生活の質の向上、多様な人材活用を通じたダイバーシティ社会の実現、インクルーシブな社会の実現といった社会全体の変革が重要であると考えています。何らかの働きづらさを抱える方々の問題解決は、そうした社会実現の一つの解決策の糸口になるのではないかと考えています。

このため、48回大会ではテーマを「職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える～これからの10年を目指して～」とし、今後の解決課題を明らかにしたいと考えています。このテーマに基づいて基調講演・対談を企画しました。

基調講演・対談の柱は、以下の通りです。

1. 問題提起 大曾根 寛 氏

いわゆる「働き方改革」の概要をフォローし、障害、傷病、若年、高齢など支援の必要な方々の雇用・職業生活への影響について問題提起をします。

2. 労働法学から見た「働き方改革」 高橋 賢司 氏

労働法学の立場から、「働き方改革」の歴史的背景、根拠となる法律、関連立法の射程範囲、改革の特徴、有効性と限界などについて検討します。

3. 今後の課題と方向性 大曾根 寛 氏

1と2の論点を踏まえて、「働き方改革」の問題点を洗い出し、いわゆる「権利擁護」の視点から、雇用制度と福祉制度の整合性について再考し、さらに障害者差別解消法の改正等、今後の課題を指摘したうえで、これからの10年を見据え、職業リハビリテーションの方向性を考えます。

4. 対談

以上の発題を受けて、対談方式により、「働き方改革」の進展の状況を確認するとともに、残された政策的・立法的課題を明らかにし、企業経営の実務や職業リハビリテーション支援の実践がどうあるべきかを議論します。

1. 「企業在籍型ジョブコーチの実態と働き方改革」

近年、職場適応援助者養成研修では企業在籍型の受講者が増加している。背景には法定雇用率の引き上げ、増加傾向にある精神（発達）障害者の雇用（定着）など障害者雇用の多様化があるが、最近では法定雇用率の数字だけではなく、「雇用の質」が問われるようになってきた。本ワークショップでは、企業担当者からの企業在籍型ジョブコーチの活動、障がいのある社員や周囲（社員）の変化などの実践報告を行い、障害者雇用から見た「働き方改革」とは何か、また今後も増えていく企業在籍型はどのような役割を果たすべきなのかを考えていきたい。

進行：角谷 勝巳 氏（障害者就労支援センター めいりは）

助言者：小川 浩 氏（大妻女子大学）

登壇者：稲熊 梢 氏（リゾートトラスト株式会社）

栗谷 佳孝 氏（ブリヂストンチャレンジド株式会社）

瀬口 公一郎 氏（豊通オフィスサービス株式会社）

※ ライブ配信 8月27日（金） 15：00 ～ 16：30

2. 「就労支援と相談支援」

第I部 - 実践発表

就労支援と相談支援は、それぞれの実績を上げるだけではなく、その実績を通じて課題を発見し、その解決スキルを蓄積し、障がいのある人が働くことを通じて住み慣れた地域で生活するにあたってのしくみやカタチを作り、街づくりにつなげることを目的としていると考える。就労支援と相談支援が連携・協力にとどまらず、街づくりの視点を共有し、その実現に向けて、どのように自分の役割を果たすかが大切である。それが障がいのある人の「働き方改革」につながり、ワークライフバランスを実現することができると思う。

このワークショップは、地域に必要な社会資源がないからといってあきらめるのではなく、ないものは地域に合ったしくみやカタチを作り続ける…そんな「働く」を通じた街づくりの取り組みの実践発表である。

進行：小松 邦明 氏（たかはま障がい者支援センター）

登壇者：新井 在慶 氏（田原市障害者総合相談センター）

※ ライブ配信 8月28日（土） 10：30 ～ 12：00

第Ⅱ部 – ランチタイムセッション

ワークショップ「就労支援と相談支援」に続いて、「ランチタイムセッション」を開催します。ワークショップの内容を踏まえて、自分の地域や近隣地域での取組事例や今後地域で取り組みたいことについて、参加者同士で意見交換します。

参加者は、ワークショップ「就労支援と相談支援」に参加された方のなかで、先着40名に限定させていただきます。

ファシリテーター：小松 邦明 氏（たかはま障がい者支援センター）

新井 在慶 氏（田原市障害者総合相談センター）

※ Zoomミーティング 8月28日（土） 12:00～13:00

3. 「精神障害者の就労支援における医療機関との連携 ～作業療法の活用の実際～」

現在進行形の疾患を抱え、持続性・安定性の障害を持つ精神障害者の就労、定着支援においては、医療機関との連携が欠かせない。精神障害に対する作業療法においては、作業遂行能力と作業遂行に影響を与える心身機能や環境因子、個人因子をトータルに評価し、治療・指導・訓練や環境調整を行い、職業準備性の向上や職場適応を図っていく。現在ほとんどの精神科病院に作業療法士が勤務しており、精神科作業療法や精神科デイ・ケアの一環として就労支援プログラムを実施したり、併設の就労支援施設を運営したりして、企業や労働、就労支援機関との連携を行う作業療法士も増加してきている。しかしながら、まだまだ作業療法の実際についての認知度は低いのではないだろうか。企業、労働、就労支援機関の皆様、作業療法士と連携し、作業療法の機能を十分に活用していただけるようになることを期待して、3つの医療機関の実践を紹介しディスカッションを深めたい。

進行：向 文緒 氏（中部大学）

登壇者：友渕 可乃子 氏（もりやま総合心療病院）

落合 舞子 氏（ハーミット）

柴田 岳史 氏（ハーミット）

田口 真司 氏（矢作川病院）

※ オンデマンド配信

4. 「大学・短大・専門学校における就労困難学生支援への取り組み」

2016年（H28）に施行された「障害者差別解消法」にて、国公立大学については合理的配慮が義務付けられ、その後、私立大学においても発達課題等により就労困難な学生に対しての支援が広がっている。

そうした中、現状における大学の支援の状況はどのようになっているのか、また、4年制の大学以外、「短期大学」や「専門学校」での取り組み状況について、それぞれの就学環境特有の事情も鑑みながら、「支援の現在地」と「今後の支援の方向性」について考察したい。本学会のテーマである「働き方改革」を意識しつつ、2020年からの新型コロナ禍の影響による「就労後の働き方の変化」にまで言及していきたいと考えている。

進行：辻 雅靖 氏（Notoカレッジ）

登壇者：瀬戸 今日子 氏（愛知県立大学）

市川 大祐 氏（DX人材育成事業 C-dots）

岡野 寛樹 氏（中部学院大学）

※ オンデマンド配信

5. 「失語症就労支援フォーラム 2021

～当事者から学ぶ失語症のある人の働き方 A to Z～

失語症のある人は、「働きたい」という意思をうまく表現できず、一般の人どころか、専門職でさえも、「うまく話せない」＝「働けない」と、考えてしまいがちである。「失語症があっても、やれることがある。適切な支援があれば、働ける」ということを知って欲しい。

今回のフォーラムでは、村瀬氏には、失語症者を取りまく社会環境の変化のレビュー『失語症者への社会的支援 最近の動向』を、土屋氏には、『失語症者・高次脳機能障害者の働く職場を対象とするコミュニケーションパートナートレーニング』と題して、失語症に対する職場の理解を進める手法について、話題提供をお願いした。

これを受けて、失語症のある方3名からは、「失語症があっても、働きたい！働くことをあきらめない！」という生の声を届けていただき、多様な働き方について、議論を深めたい。

進行：加藤 朗 氏（名古屋市総合リハビリテーションセンター）

登壇者：村瀬 文康 氏（愛知県言語聴覚士会／訪問看護ステーションほたるみどり）

土屋 知子 氏（国立職業リハビリテーションセンター）

野村 裕 氏（トルク株式会社：失語症当事者）

池田 博之 氏（東京海上日動火災保険株式会社：失語症当事者）

梅北 健一 氏（失語症当事者）

※ オンデマンド配信

「アジア各国における障害者雇用や職リハの現状を知る」

一昨年のお大阪大会から「国際的な視座で、わが国の職リハの潮流を読む」をテーマに始まった国際ワークショップ。今年のお愛知大会では、大会シンポジウムとして開催します。

今年のおテーマは「アジア各国における障害者雇用や職リハの現状を知る」。アジアの職業リハは、わが国と同様にその施策や方法論、援助技術を欧米から学んできました。そして各国の実情に照らしたシステムに発展させ、実践を通して、日々進化しています。

本シンポジウムでは、マレーシアと台湾からお二人の実践家をお招きし、それぞれの国の制度や施策、職リハ実践（特に、ジョブコーチ支援などの人的支援や人材育成）について話題提供いただきます。またコロナ禍において、障害のある人を取り巻く課題が顕在化し、より複雑になっているように見えます。それぞれの国において、これらの課題をどのように捉え、どのような取り組みを行っているのかを学び合い、今一度わが国の現状や今後の展望を考えます。それぞれの成果や課題を通して、わが国の職リハや障害者雇用、就労支援を振り返る機会にしたいと思います。

進行：稲葉 健太郎 氏（名古屋市総合リハビリテーションセンター）

柴田 珠里 氏（横浜やまびこの里）

指定討論：小川 浩 氏（大妻女子大学）

話題提供者：Swee Lan Yeo 氏（MS in special education, Gamuda,Enabling Academy, マレーシア）

Ming Hung Wang 氏（Ph.D,CRC, Graduate Institute of Rehabilitation Counseling,National Changhua University of Education, 台湾）

※ ライブ配信 8月28日（土） 13:00 ～ 15:00

研究・実践発表

これまで、職業リハビリテーション学会では「口頭発表」「ポスター発表」の区分がありましたが、本大会ではオンライン開催に伴い、統合して「研究・実践発表」とさせていただきます。学会大会のホームページに特設ページを設け、「抄録集原稿」と「発表資料」を一定期間掲載、公開します。

質疑応答については、大会ホームページ上のフォームでの投稿になります。演題ごとに、参加者から質問を受ける掲示板を設定します（開設期間：2021年8月27日（金）～9月11日（土））。掲示板では、演題に関する質問のみに限ります。入力方法はホームページに掲載します。

※ ホームページへの参加者からの質問、回答およびその掲載期間は以下のとおりです。

参加者からの質問	2021年8月27日（土）～8月31日（水）
発表者の回答	2021年9月 1日（木）～9月 5日（日）
質問・解答の掲載	2021年9月 6日（月）～9月11日（土）

【 予定演題 】

※ 発表者は、筆頭発表者のみを掲載しています。

※ 演題名は、申し込み時点の標題です。

<分科会1> 「身体障害・高次脳機能障害・知的障害」

就労移行支援事業所および就労継続支援 A 型・B 型事業所における知的障害者の性的行動の実証分析	門下 祐子(筑波大学人間総合科学学術院)
知的障害者の余暇活動を活かした仕事への発展性について	木村 美幸
復職先の職場を用いた職業リハビリテーションの経験 ～段階的に復職へ向け環境調整を実施した症例～	石川 篤(東京慈恵会医科大学附属病院)
復職を果たした高次脳機能障害者に対し外来作業療法を実施した症例～復職後の職場理解と業務マッチング～	松木 千津子(東京慈恵会医科大学附属病院)
民間企業における理学療法士などのリハビリテーションの視点を活かした障害者の就労支援のあり方	蓮田 有莉(株式会社Next)

<分科会2> 「精神障害」

就労移行支援におけるセルフモニタリングの設定に関する研究	久保川 良子(大阪精神障害者就労支援ネットワーク)
精神障害者が働きやすい労働環境に関する調査報告	三木 良子(帝京科学大学)
双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群における就労支援・職場定着に 影響を与える要因について ―就労移行支援における効率的な訓練展開を目指して―	屋敷 千晴(大阪精神障害者就労支援ネットワーク)
てんかんの方々と障害福祉サービス・より良い支援に向け	青柳 智夫(日本てんかん協会神

た手掛かりの探索	奈川支部)
有効な就労移行支援とアセスメント ～就労移行支援事業所に対するアンケート調査から～	塩澤 まどか (コミュネット楽創)

<分科会3> 「発達障害」

「くたびれ果て」への理解に向けてーAutistic Burnout に関する予備調査ー	千田 若菜(ながやまメンタルクリニック)
自閉スペクトラム特性が高い者の職場適応感に関する調査研究	五屋 真由子(大阪精神障害者就労支援ネットワーク)
就労移行支援事業におけるジョブマッチングのあり方と就労継続への影響	飯塚 菜緒(就労移行支援事業所ワークアシスト)
特別支援学校高等部(知的障害)における発達障害を有する生徒に対する進路指導の特異性の検証	濱名 元之(四天王寺大学)
発達障害・精神障害の実行機能に応じた就職・職場適応支援の検討	知名 青子(障害者職業総合センター)
発達障害のある方の職場定着に影響を及ぼす要因について～定着できなかった方を対象として～	實盛 朱里(NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク JSN 研究所)

<分科会4> 「連携・地域協働」

カフェやレストランを運営する福祉事業所の食と農を介した就労支援の取り組み	片山 千栄(元 農研機構)
高次脳機能障害者の多職種連携に関する調査研究	西尾 香織(帝京平成大学)
就労アセスメントの実施促進に向けた多機関連携による就労支援モデル整備のための調査研究	前原 和明(秋田大学)
障害者の地域参加に関する研究ー障害者就労継続支援事業における地域活性化に資する活動に関するプログラム理論の構築ー	藤本 優(大妻女子大学)
難病患者の就労、その就労支援の状況 ～ヒアリング調査結果を中心に考察～	中金 竜次(就労支援ネットワークONE)

<分科会5> 「ジョブコーチ・支援者」

就労移行支援における「課題の共有化」に関する概念分析	森川 洋(帝京平成大学)
ジョブコーチに必要な知識・スキル(1)～訪問型および企業在籍型ジョブコーチの実情～	縄岡 好晴(大妻女子大学)
ジョブコーチに必要な知識・スキル(2)～支援者の所属機関による相違～	清野 絵(国立障害者リハビリテーションセンター)
ジョブコーチに必要な知識・スキル(3)～支援対象者の	若林 功(常磐大学)

障害種類による相違～	
農業分野におけるジョブコーチ的人材の公的育成プログラムに関する一考察	直江 秀一郎（農林水産省 農林水産政策研究所 付 コンサルティングフェロー）

<分科会6> 「働き方支援・キャリア支援・定着促進」

就労支援機関における管理職の現状と課題－テキストマイニングによる比較－	大川 浩子（北海道文教大学／コミュニティネット楽創）
障害者の円滑な就業の実現等にむけた長期継続調査（第8回報告）－障害のある労働者の職業サイクルに関するアンケート調査結果－	大石 甲（障害者職業総合センター）
職場定着促進のためのトータルパッケージについての実態調査	田村 みつよ（高齢・障害・求職者雇用支援機構）
聴覚障害者のキャリアアップ目標の有無と職業満足度の関連に関する調査報告	後藤 由紀子（筑波技術大学）
超短時間雇用モデル実践報告	松清 あゆみ（東京大学先端科学技術研究センター）

<分科会7> 「企業研究」

一企業における就職困難者の採用と職場定着について	山岡 由美（岩手県立大学）
HRM チェックリストを用いた特例子会社での企業研究（1. 残留意欲と他の下位尺度との関連についての検討）	佐藤 凜奈（兵庫教育大学）
HRM チェックリストを用いた特例子会社での企業研究（2. 存続的組織コミットメントを予測する項目の検討）	中本 遥香（兵庫教育大学）
HRM チェックリストを用いた特例子会社での企業研究（3. ストレス反応と他項目との関連についての検討）	原田 采奈（兵庫教育大学）
障害者雇用が企業環境に与える効果に関する研究	奥脇 学（有限会社奥進システム）

<分科会8> 「コロナ・テレワーク、その他」

コロナ禍におけるこれからの障害者就労のあり方	木下 一雄（旭川大学）
就労継続支援B型事業所の工賃向上に影響を及ぼす要因に関する研究-事業所の重視する視点による傾向分析	山口 明日香（高松大学）
新型コロナウイルス感染拡大への対策としてのテレワークの利用と問題点 ～フランスの事例をもとに	小澤 真（大阪府立大学）
新型コロナウイルスの流行が企業の障害者雇用に与える影響に関する一考察	富田 文子（埼玉県立大学）

自主ワークショップ

自主ワークショップはオンデマンド配信となります。大会ホームページから閲覧してください。

※ 話題提供者は、企画者を掲載しています。

※ 演題名は、申し込み時点の標題です。

高等教育機関における就労支援専門人材の養成 ～その可能性と課題を考える～	大妻女子大学 小川 浩氏
就労移行段階の意思決定に資するアセスメントに必要な仕組みとは何か	障害者職業総合センター 武澤 友広 氏
精神障害等のある人々を包摂する雇用モデル間の比較を通じた支援ニーズの理解	東京大学 近藤 武夫 氏
職業リハビリテーションにおける認知行動療法の実践 ～認知行動療法スーパーバイザーによる基礎から応用実践まで～	兵庫教育大学/NPO 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 池田 浩之 氏
職リハ分野の事例報告・事例研究について考える	[学会誌編集委員会] 常磐大学 若林 功 氏
アジア（台湾・マレーシア）における就労支援・人材養成の実際（国際委員会自主ワークショップ）	[国際委員会] 横浜市発達障害者支援センター 柴田 珠里 氏
職業リハビリテーション分野におけるアクセプタンス&コミットメントセラピーの活用	(株)スタートライン CBS ヒューマンサポート研究所 太田 和宏 氏

交 流 会

クラウドオフィスツール「S o c o c o」を活用してクラウドルーム内にテーマ別の部屋を用意し、Z o o mミーティングでの交流会を開催します。入退室も自由です。

※ Z o o mミーティング 8月27日（金）16：45 ～ 18：15

参加費：無料（先着100名様までとさせていただきます）

申し込み：大会ホームページよりお申し込みください。その際に、開始時点でお入りいただく希望の部屋をご指定ください（人数調整させていただく場合もあります）。

部屋のテーマ	内 容
<p>「職リハ研究の世界」裏話 MC：大曾根 寛 氏 (放送大学)</p>	<p>「職リハ研究」に携わる人のための、「研究」を切り口にした部屋です。大学院進学を考えている方、大学院生、若手研究者に集まっていただき、研究上の悩みや苦労話、仕事と研究の両立の問題などをおしゃべりします。</p>
<p>「精神障害者の職リハについて、医療・福祉・労働・企業のみみんなで語り合おう」 MC：向 文緒 氏 (中部大学)</p>	<p>精神医療は、就労準備はもとより、就職後も利用できる外来医療や福祉がいろいろあります。精神科の作業療法士は、企業・労働・福祉分野の皆さんと出会い気軽に語り合いたいと思っています。精神障害者の職リハにおける多機関・多職種協業に興味のある皆さんお集まりください。</p>
<p>「koma2 の ふせん いただきます ～いまどきのジョブマッチング～」 MC：小松 邦明 氏 (たかはま障がい者支援センター)</p>	<p>「ジョブマッチングって、ホントにしてる？」という疑問から意外に重要だったアセスメントやジョブマッチングの要素まで、「あなたに 合ってると思ったから」を、できるだけほぐしてみましょ。ふせんに自分の質問や意見を書いて、ペタッと貼る。そんな気軽なコーナーです。</p>
<p>「障害者雇用の四方山（よもやま）話」 MC：瀬口 公一郎 氏 (豊通オフィスサービス)</p>	<p>法定雇用率によって支えられている障害者雇用。企業在籍型ジョブコーチ3人が本音で話します！障害者雇用にかかわって面白かったこと、楽しいことの話からざっくばらんに話しができればと思っています。</p>
<p>「コミュニケーション障害と職リハについて考える」 MC：加藤 朗 氏 (名古屋市総合リハビリテーションセンター)</p>	<p>コミュニケーション障害は、指示理解に困難が生じたり、適切な報連相ができなかったり、働きづらさに直結します。視覚・聴覚、失語症、発達・高次脳等々障害特性により困難度は様々ですが、ツールの活用や人的支援の一工夫等、現場で役立つ実践を共有する場にできればと思います。</p>
<p>自称若手交流会 「オンラインオープンカフェ」 MC：草場 美穂 氏 (LITALICO ワークス)</p>	<p>キャリア1～5年未満（それ以上の方もご参加できます）および大学院生など若手実践者を中心に、自分の仕事、やりたいこと、ワークライフバランスなど、若手ならではの思いをおしゃべりしながら、共感したり、励みになったり、顔見知りになったり。そんなきっかけになる場になりたいと思います。</p>

～職業リハビリテーション学会基礎講座のご案内～

例年は大会にあわせて行っておりますが、本年度は下記の通りオンデマンド配信で行います。本大会とは別料金のご案内になりますが、ぜひご参加ください。

大会ホームページから申込みいただけます。

研修基礎講座

< 講座A > 「**職業リハビリテーションの基礎**」

講師：倉知 延章 氏（九州産業大学）

< 講座B > 「**就労支援の現場における人材育成**

～ワーク・エンゲイジメントとグループスーパービジョン～

講師：大川 浩子 氏（北海道文教大学/NPO 法人コミュネット楽創）

本多 俊紀 氏（NPO 法人コミュネット楽創）

※ 講座A・Bともにオンデマンド配信

配信・掲載期間：8月27日（金）～9月11日（土）

各90分程度（予定）

【参加費】

正会員 無料

非会員 1,500円

《 大会参加申し込みのご案内 》

1. 概要および参加申し込み

申し込み方法	大会ホームページの申し込みフォームからの申し込みとなります。
定員	500名（先着順）
登録	参加申込期日（2021年8月13日）までに入金が確認できた方へは、開催日1～2週間前にログイン情報をメールでお知らせします。

2. 参加費

大会参加費	正会員	4,000円
	非会員	5,000円
	学生	2,000円
研修基礎講座	正会員	無料
	非会員	1,500円
交流会		無料

- ・ 参加申し込み期限：2021年8月13日（金）
- ・ 参加費には、プログラム・論文（以下、抄録集とする）を含みます。
- ・ いったん納入された費用はお返できませんので、あらかじめご了承ください。

《 参加者へのご支援について 》

1. 聴覚障害等への情報保障

ライブ配信によるセッションにつきましては、画面内にパソコン文字通訳（字幕）を表示する予定です。

2. 外国語通訳

シンポジウムにつきましては、同時通訳を予定しています。

3. その他

必要なお配慮、介助が必要な方は、大会事務局までご連絡ください。

《 本大会への参加にあたって 》

1. 配信・参加方法・免責事項

- ・ ライブ配信は、Web会議システム（Zoomウェビナー）を使用して行います。お使いのパソコン、タブレットやスマートフォンなどにZoomアプリをインストールしていただくか、ブラウザからご参加いただけます。視聴可能なハードウェアやソフトウェアは、各自でご準備ください。Zoom最新バージョンへのアップグレードをお願いします。
- ・ オンデマンド配信動画は大会ホームページから、ブラウザでご視聴いただけます。
- ・ 推奨ブラウザは以下の通りです（いずれも最新バージョンを推奨）。

Google Chrome, Mozilla Firefox, Microsoft Edge, Safari

※ Internet Explorer は、正常に動作しない可能性がありますのでご注意ください。

※ インターネット接続にかかる通信料につきましては、参加者各自のご負担となります。

- ・ Web を利用した閲覧のため、ご所属先のインターネット環境によってはセキュリティの兼ね合いでオンラインページに接続できない場合があります。事前に接続をご確認ください。参加者の使用するデバイスやインターネット環境により本大会の視聴が正常にできない場合にあっても、一切の責任を負いませんのでご承知おきください。また、個別のサポートはいたしかねますので、ご了承ください。
- ・ 本大会への参加は、申込者本人に限ります。一人1台のデバイスで参加してください。
- ・ 視聴用のURL・ID・パスワードについては、他者との共有、公開を禁止します。
- ・ 配信中、異常と思われる接続を発見した場合、予告なく通信を切断することがあります。
- ・ 本大会にかかる映像、画像、テキスト、音声又は関連資料等のコンテンツの著作権は、講演者、主催者、その他の著作権者に帰属します。著作権者などの承諾を得ずに複製、公衆送信などの行為を行うことは、著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。目的の如何を問わず、コンテンツの複製（ダウンロード、キャプチャ等）、送信、転載、その他二次利用行為を禁止します。

2. 質疑の方法

【 ライブ配信 】

- ・ ライブ配信では、Zoomの「Q&A」から質問を受け付けます。「チャット」機能は音声や設備等の確認のための使用に限定しますので、チャットへの質問はご遠慮ください。
- ・ セッション時間に限りがありますので、ご質問いただいた内容すべてを取り上げることはできないことをあらかじめご了承ください。

【 オンデマンド配信 】

- ・ オンデマンドによる大会主催ワークショップへのご質問は、大会視聴用ページ内の質疑応答フォームにご入力ください。
- ・ 受付期間は、2021年8月27日（金）～ 2021年9月11日（土）までとします。いただいたご質問へは、進行もしくは登壇者から随時ご返信します。
- ・ いただいた質問、ご所属、氏名および回答につきましては、掲載期間中は公開させていただきます。

《連絡先》

大会参加及び発表申し込み等に関するお問い合わせ

－大会のお申込み、受付に関するお問い合わせ－

株式会社 Noto カレッジ

電話：0584-71-6117 FAX：0584-77-7633

E-mail：shokuriha-aichi@notocolle.co.jp

－大会の運営に関するお問合せ－

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

電話：052-835-3692 FAX：052-835-3826

E-mail：jsvr48aichi@yahoo.co.jp

お問い合わせは、できるだけ E-mail でお願いいたします。

お電話にてお問い合わせの際は、「職業リハビリテーション学会の件で」とお申し付けください。

学会への入会・年会費等に関するお問合せ

日本職業リハビリテーション学会事務局にご確認ください。

〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1

九州産業大学人間科学部 倉知研究室

電話/FAX：092-673-5818

E-mail：shokuriha_jimukyoku@vocreha.org

大会ホームページ

<http://www.shokuriha-aichi.com>